

# Goldschmidt Conference 2016

Goldschmidt Conference 2015 報告  
組織委員会報告

# 広報活動

## ▶ 地球化学会ブースにて共同で広報活動を実施

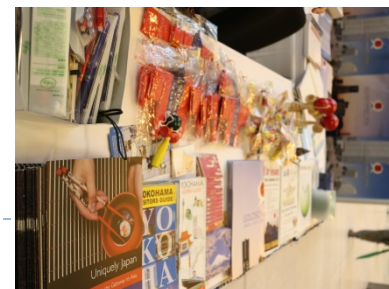
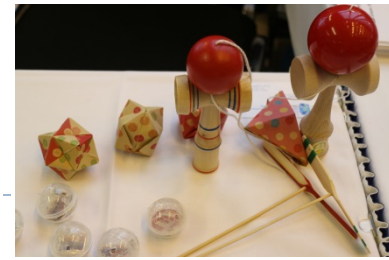
### ▶ 配布物

- ▶ ミニけん玉 100個
- ▶ ミニ法被手ぬぐい
- ▶ Yokohama Visitors Guide (リーフレット)
- ▶ Discover the Sprit of Japan (パンフレット)
- ▶ ミニ和紙付箋
- ▶ フリクションペン (赤、青、黒)
- ▶ USB (巡検アンケートに回答またはミニコンタクトカードをくださった方にお渡し)
- ▶ 富士山ポストカード
- ▶ 横浜ピンバッジ
- ▶ Goldschmidt Conference 2016ポスター2種
- ▶ 英語版スポンサー趣意書

### ▶ 活動内容

- ▶ 巡検アンケート実施 (大隅先生)
- ▶ 折り紙体験
- ▶ けん玉体験
- ▶ スポンサー挨拶回り
- ▶ (GSブースにて) 横浜PV・GC2016PVの上映

## ▶ 最終日プレナリーレクチャー前に次回大会広報プレゼンテーション



# 広報活動-cont.

---

## ▶ ミニコンタクトカード回収

- ▶ 枚数…102枚
- ▶ 帰国後gold2016@c-linkage.co.jpよりハッピーメール送信済み

## ▶ ブースでの問い合わせ事項

- ▶ 以下の内容についてブースで問い合わせが寄せられた
  - ▶ VISA申請
  - ▶ アクセス
  - ▶ 宿泊費

上記についてHPにて案内するよう、CPと連携を図る

# 組織委員会：2015年8月18日（12:30-14:00）

---

## 1. Workshopについて

1. 会場について、みなとみらい地区以外にも検討中である旨伝えたところ、運営上また参加者にとってもあまり好ましくない旨指摘があった。Conference会場となるパシフィコ横浜を中心に、3か所程度以内に絞ることを提案される。
2. Workshop担当の鈴木淳先生と調整し、Call for Workshopの準備を進める。
3. Workshop募集：
  1. WEBのシステムを通して募集する
  2. 採択については科学委員会メンバーを含むLOCで決定
  3. 応募者は最低人数・最大人数を明示し、必要経費を事務局にて積算する
  4. 必要経費は会場費、基本機材関係費（プロジェクタ・スクリーン・PC）、Wi-Fi、ケータリングの費用を元に算出する。それ以外に必要な機材・備品については、Workshop Organiserが負担する
  5. 参加者から徴収した参加費からかかった費用を相殺した残りはWorkshop Organiserに戻す
4. スケジュール
  1. 9月8日（Call for Sessions）と同時期にCall for Workshopを開始する（※現在必要経費をCLにて算出中。その数字が出た段階でCPに連絡する）
  2. 締切：2016年2月26日（予定）

# 組織委員会：2015年8月18日（12:30-14:00）

---

## 1. 各種Social Eventについて

### 1. 昼食

- ▶ 【報告】 現在弁当（1,350円）、温かい食事、学生用ワンコイン（程度の）弁当の提供を検討中である旨
- ▶ 【コメント】 昼食については、温かい食事は必ずしも提供する必要はない

### 2. コーヒーブレイク

- ▶ 【相談】 プラハ大会では常時コーヒー等のドリンクとリフレッシュメントが提供されていたが横浜大会では時間を区切って、展示会場でのみの提供としたい
- ▶ 【コメント】 プログラム間の休憩がないため、展示会場でのみの提供は参加者からの不満につながる。常時提供することが望ましい。展示会場だけでなく、会議センターにも設置する。最低2か所は必要と思われる。
- ▶ 【方向性】 一日に提供する杯数のリミットを設定し、そのリミットに達したら提供をやめる。リフレッシュメントはあることが望ましい。

### 3. コングレスディナー

- ▶ 【相談】 ロイヤルパークホテル「鳳凰の間」で500名規模着席正餐 4コースの食事を想定した場合、一人65ユーロ程度となる。参加費を抑えるために、（着席）ビュッフェ形式のコンgresディナーは可能か。ドリンクの提供を限定し、チケット制にすることは可能か。
- ▶ 【コメント】 費用が抑えられるのであれば、形式には特にこだわりはない。但しメニューには配慮した方がよい。ドリンクのチケット制は特に依存ない。
- ▶ 【方向性】 LOCのイベント班で再検討する

# CPとの個別打合せ報告

---

## 1. 学生について

### 1. 学生ボランティア

- ▶ アブストラクトを登録した学生に事務局よりメールでボランティア募集の案内を発信
- ▶ プラハ大会では約60名の学生ボランティアが運営をサポートした
- ▶ 学生に提供されたもの：Tシャツ2枚、日当60ユーロ
- ▶ ボランティアに応募した学生リストをLOCにも確認してもらい、日本人学生の選定にコメントを欲しい
- ▶ 日当の提供については必ずしも必要ではない。昼食の提供等でも可
- ▶ ボランティアに提供するものについては予算をみながらLOCで決定する

### 2. ショートコースについて

- ▶ 学生を対象としたショートコースについては、現在LOCで企画中の講義・ワークショップ形式のもの以外に、昼食時に開催されている「Non-Nativeの学生に対するプレゼンテーションワークショップ」がGS主導で行われている。
- ▶ 現在LOCで検討している学生向けショートコースについても無料ではなく有料とした方がよい（無料であれば登録しても当日参加しない学生が増えるため）

### 3. メンター／メンティプログラム

# CPとの個別打合せ報告

---

## 2. グラントについて

### 1. 途上国からの参加者対象

1. 40名の参加登録費免除（2015年は23,000€を予算計上）
2. 学生に限定したものではない

### 2. 学生対象のグラント

1. 参加登録費免除（2015年は23,000€を予算計上）

### 3. NSFのグラント

1. 北米の学生を対象にしたグラント：GSが管理

# CPとの個別打合せ報告

---

## 1. 今後のスケジュールについて

1. Call for Session/Workshop 9月8日～11月30日
2. Call for Exhibitor 9月8日
3. Call for Abstracts 1月1日～2月26日
  - 査読結果通知 締切後4～6週間後
4. Early Registration 1月1日～4月26日
5. Standard Registration 4月27日～5月26日
  - ワークショップ登録も同時に〆切
6. Financial Support Programme Application Close 2月26日

## 2. スケジュールとの連携

1. 参加登録開始（1月1日）までに費用（登録費）がかかるものについては全て決定しておく（Social Events、巡検、昼食他）